

令和 2年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 三重大学附属病院糖尿病内分泌内科
氏 名 矢野 裕

活動テーマ	「まず予防！家族で取り組む糖尿病発症予防」
実施期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WORKATION+モデルプラン実施 ・糖尿病 WEB 勉強会×2回 ・津市の糖尿病事業への協力 ・みえ糖尿病サポートねっと（ホームページ）の充実、および周知 <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初計画では、上記をテーマとした糖尿病県民公開講座を行う予定で、開催場所や人員の手配も行い計画も進めていたが、COVID-19 蔓延のため中止せざるを得なかった。そのため、実施メンバーや参加希望者を含めた勉強会を行い、今後の糖尿病発症予防、保健指導に必要な知識や情報の提供、及び、次年度以降の計画について話し合った。また、津市で行っている糖尿病事業にも協力した。 ・みえ糖尿病サポートねっと HP を充実し、地域糖尿病療養指導士の育成のため、受験者の募集、教育に協力、また、糖尿病に関する一般的な情報提供のみならず、三重県の医療機関の情報提供を行った。 ・COVID-19 収束後の三重県の観光産業の発展と労働者の糖尿病予防、重症化予防を目的として、NEMU リゾートを舞台として、WORKATION+モデルプランを実施した。三重大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科、栄養診療部が中心となり、実施プランを作成、またリゾートで提供する料理の栄養計算を行い、リゾートのメニューをベースとして適正に調整し、調整メニューを提供した。また、モデルプラン実施中は糖尿病専門医がオンラインで参加者と面談を行い、リブレフリースタイルにて血糖値のモニタリングを行いながら保健指導を行った。（別添） <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>三重県、三重県糖尿病協会と協力し、糖尿病及び生活習慣病の啓発や、感染症予防、かかりつけ医制度の紹介などについても、WEB にて啓発を行った。今後もお互い協力しながら、糖尿病の予防啓発のみならず、地域の活性化に努めていく予定である。</p> <p>また、今回、WORKATION+モデルプラン実施については、三重大学地域イノベーション学研究所、医学部附属病院栄養診療部、*³伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社、カーブスジャパン株式会社の協力を得、共同実施した。</p>

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり
WORKATION+モデルプランの実施について、第95回日本糖尿病学会中部地方会(2021.9)にて発表予定である。(別添)

- (5) イベント等開催実績(名称, 実施場所, 参加人数等)
- ・みえ糖尿病県民公開講座(2020.11)→COVID-19蔓延のため中止
 - ・WORKATION+モデルプラン
開催場所: NEMUリゾート 検討会議参加者: 15名
モデルプラン参加者: 5名
 - ・糖尿病勉強会
開催場所: オンライン 参加者: のべ40名

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について
平成30年~令和2年まで本事業を行ってきたが、県民公開講座では、発症前の若い世代(50代以下)の参加、家族参加率が高く、ターゲット層の参加を得ることができた。通常、糖尿病の県民公開講座の参加者は平均年齢70歳代であることを考えると、成果を得られたと考える。しかしながら、集大成である3年目の県民公開講座は、前年度から協力企業を募集したり会場を押さえたりするなど、準備を進めてきたにも関わらず、COVID-19の蔓延により中止せざるを得なくなり非常に残念であった。代替として、オンラインでの勉強会、WORKATION+モデルプラン実施を行ったが、これについても、感染対策のため規模を縮小せざるを得なかった。(本来は地域医療機関も利用するモデルプランであったがCOVID-19流行のため利用できなくなった)

しかしながら、このような中でもCOVID-19収束後の三重県の観光産業の発展や糖尿病予防に向けた新しいプランを、地域イノベーション学研究科や大手企業、三重県の南部地域の新たな協力者(観光業、医療機関等)と共に検討、実施することができた事は非常に有意義であり、今後の地域観光産業×糖尿病予防対策につなげられるものと考えている。